

平成20年度当初予算 重点的な取組別概要
< 重点事業 >

くらし5：安心して子どもを産み育てられる子育て環境の整備（主担当部：健康福祉部）

< 重点事業の目標 >

保育ニーズが多様化する中、全国的に見て実施率が低位にある特別保育および放課後児童対策について、市町の取組の拡充に向けた支援を行うとともに、地域のニーズにおける多様な子育て支援の取組を支援します。

また、子どもを産み育てることを望む人たちの希望ができるだけ実現するよう、子育てにかかる経済的負担の軽減策や不妊対策を充実するなど、きめ細かな取組を行います。

< 構成事業（担当部） >

- （1）放課後児童対策事業（健康福祉部）
- （2）放課後子ども教室推進事業（教育委員会）
- （3）次世代育成支援特別保育推進事業（健康福祉部）
- （4）ファミリー・サポート・センター設置促進事業（生活部）
- （5）3人目みえ応援プログラム事業（健康福祉部）
- （6）不妊相談・治療支援事業（健康福祉部）

< 重点事業の事業費 >

（単位：千円）

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
793,591	(868,000) 756,774	942,000	978,000

H19年度は現計予算額、H20年度は当初予算要求額

H20年度の上段括弧書き、H21年度、H22年度は第二次戦略計画の記載額

< 重点事業の数値目標 >

目標項目		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
県内における各種保育（預かり）サービス事業実施率	目標値	-	62%	66%	70%	75%
	実績値	57%				

夕刻以降の預かり（延長保育、放課後児童クラブ等）、休日・一時預かり（休日・一時保育、ファミリー・サポート・センター）、病児・病後児の預かり（病児・病後児保育）の市町における事業実施率

< 構成事業の目標 >

目標項目		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
(1)放課後児童クラブに登録する児童数	目標値	-	7,704人	8,481人	9,600人	10,075人
	実績値	7,261人				
(2)放課後子ども教室の参加人数	目標値	-	1,128人	1,608人	2,088人	2,568人
	実績値	-				
(3)延長保育、一時保育、休日保育、病児・病後児保育実施箇所数(特別保育実施箇所数)	目標値	-	263か所	291か所	319か所	346か所
	実績値	230か所				

(4)ファミリー・サポート・センターの利用件数	目標値	-	19,200件	19,400件	19,600件	19,800件
	実績値	19,014件				
(5)3人目みえ応援プログラム事業利用児童数	目標値	-	302人	317人	332人	348人
	実績値	-				
(6)三重県不妊専門相談センターへの相談件数	目標値	-	150件	155件	160件	165件
	実績値	147件				

<進捗状況（現状と課題）>

- ・放課後児童クラブの設置については、この2年間で146か所から182か所と着実に増加していますが、今後は児童数の少ない地域での設置が課題となっています。
- ・保育所の多機能化を促進するため、延長保育、一時保育、病児・病後児保育等に対して市町への支援を行っており、この2年間で延長保育は107か所から149か所、一時保育は36か所から68か所と増加しています。
- ・子どもを生み育てることに夢や喜びが感じられるよう経済的負担の軽減策等に取り組む必要があります。

<平成20年度の実施方向>

放課後の子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進するため、放課後児童クラブや放課後子ども教室の設置を促進する取組を行います。

仕事と子育ての両立支援と子育て不安の解消に向け、延長保育、一時保育など特別保育サービスの取組を支援します。

地域における子育て等の相互援助組織であるファミリー・サポート・センターの機能の充実・強化を支援します。

3人以上の子どもをもつ家庭の保育にかかる負担の軽減、不妊にかかる相談支援や治療費負担軽減に引き続き取り組んでいきます。

<主な予算要求事業>

（一部新）放課後児童対策事業費補助金【20年度予算額 450,576千円】（事業(1)）

保護者が就労等により昼間家庭にいない主に小学校低学年児童に対し、放課後の適切な遊びや生活の場を提供する放課後児童クラブの設置、運営を支援します。

放課後子ども教室推進事業【20年度予算額 53,335千円】（事業(2)）

放課後や週末等に小学校内外の施設を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の多様な方々の参画を得て、スポーツ・文化活動等の体験活動、地域住民との交流活動や学習活動等の取組を推進します。

次世代育成支援特別保育推進事業補助金【20年度予算額 113,601千円】（事業(3)）

保育所の多機能化を促進するため、延長保育、一時保育、休日保育、病児・病後児保育を実施する保育所等の支援を行います。

ファミリー・サポート・センター設置促進事業【20年度予算額 13,994千円】（事業(4)）

働く人の育児の不安や負担感を軽減し、安心して仕事と家庭を両立できる環境をつくるため、地域における子育て等の相互援助組織であるファミリー・サポート・センターの機能の充実・強化を支援します。

3人目みえ応援プログラム事業【20年度予算額 8,744千円】(事業(5))

多子世帯の子育て支援のために、一定の保育サービス等を受けた利用者の負担軽減策を実施します。

不妊相談・治療支援事業【20年度予算額 116,524千円】(事業(6))

不妊に関する悩みに対応するため、相談支援に取り組むとともに、特定不妊治療を受けた、夫婦の経済的負担の軽減をはかります。

